

## 紹介予定派遣のメリットをアピール、 中国の人材と日本企業をマッチング

### 外国人IT技術者の紹介予定事業を新たに立ち上げ

企業の採用ニーズが高まるなかで、新たなTTPビジネスに乗り出す企業も登場している。2002年に人材紹介事業をメインに創業したアクシスコンサルティング（東京都千代田区）は今年4月から外国人IT技術者のTTP事業を開始した。中国・大連の人材ビジネス会社と提携し、日本国内のIT企業に中国人IT技術者を紹介するツールとしてTTPに着目した。

「当社の人材紹介部門の売り上げはIT業界が約54%を占めるが、国内の優秀なIT技術者は大手に集中し、中小は人材不足の傾向にある。若者の理工系離れもあり、将来的に日本のIT技術者の不足が見込まれるなかで中国には優秀な人材が豊富であり、ビジネスとしても期待できると考えた」（三宅巧一・人材派遣事業部マネージャー）

7月には大連に続き上海の人材ビジネス会社とも提携した。TTPの対象は日本語の話せるIT技術者。提携する現地の人材ビジネス会社の登録者を対象に書類審査とインターネット上で「SKYPE」を通じた画面による本人と派遣先企業との面接を実施。双方が合意すれば、日本に来て派遣スタッフとして働き、正社員として雇用される。

現在、大連と上海の登録者は約100人。うち10人が派遣契約を結んでいる。年齢は25～30歳、いずれも大



### アクシスコンサルティング 三宅 巧一

人事派遣事業部 マネージャー

学卒の実務経験豊富なプログラマーやSEである。年収ベースではプログラマー400万円、SE600万円クラスの層である。また、同社は在日外国人IT技術者を対象にした転職支援サイト「国際人事部」（<http://k-jinji.com/>）を開設し、求職者の拡大にも取り組んでいる。求人企業の開拓においては「人材は欲しいが外国人ということで採用に踏み出せない企業もあり、潜在的な需要は高い。TTPのメリットを積極的にPRするとともに、中国の視察ツアーも企画するなど需要拡大を図っていきたい」（三宅マネージャー）

同社は当面の目標として来年6月の決算期までに80人、以降年間150人の紹介成立を目指している。